

教育に新聞を

毎週火曜掲載

「振り込め詐欺って知っていますか?」「知ってるよ。おばあちゃんちに電話がかかるときだよ」「うちも」と、先生の一言で教室は騒然となりました。

その後、担任が黒板に「折れ線グラフ」と「棒グラフ」と書きました。小学校4年算数の始まりです。

「振り込め詐欺は特殊詐欺の一つです。お年寄りが巻き込まれて、大きな問題となっています。新聞にこんなグラフが載っています。すると、「2011年から下がり始めた」「3年間で600億円から400億円まで被害額が減っ

ていますか?」「知ってるよ。おばあちゃんちに電話がかかるときだよ」「うちも」と、先生の一言で教室は騒然となりました。

その後、担任が黒板に「折れ線グラフ」と「棒グラフ」と書きました。小学校4年算数の始まりです。

「振り込め詐欺は特殊詐

せきぐち・しゅうじさん
1955年東京生まれ。
東京学芸大を卒業後、東京都公立小学校教員として勤務。その間(91~2007年)、群馬大教育学部非常勤講師。北区滝野川小など3校で校長を務め、16年4月から現職。

記事とはさみは使いよう

5

た」と、次々に読み取っていきます。

「減つて良かった」と、少し安心した子どもの表情を見て、担任は新聞に載っていたというもう一つグラフを示します。「これは特殊詐欺の発生件数(実際の記事では認知件数)の変化の棒グラフです」と伝えると、教室には沈黙が走りました。

「減ったんじゃないの?」

「新聞が違っているのかな?」とのつぶやきが聞こえます。すると「被害額が減つて、発生件数が増えることってあるよ」「1件あたりの被害額が減ったんだ」との発言。さらに「減つてもすごいよ。被害総額を発生件数の約2万件で割ってみるよ。1件平均200万円だと付け加えました。すかさず、担任は「そう。

す。おじいさんやおばあさんによく伝えておいてください」と伝えました。

最後に、「新聞に載っていた実際のグラフはこれです」と言って、折れ線と棒の2種類が入ったグラフを見せました。「二つのことを一つに表せるんだ」「二つの関係もよく分かるね」と、子どもが納得したところで、チャイム。

教科書の多くの単元で、(日本新聞協会NIE-CO)ディネーター 関口修司「次回は12月3日」

で、気温等の変化を表すグラフを使っています。それが子どもの驚きや興味・関心を引き出せるでしょうか?

新聞を活用した教材は、子どもたちにリアリティーのある切実感を与えます。「社会に開かれた教育課程」が重視される中、記事と事件は使いようなのであります。

事件グラフ 興味引き出す



▼実践▲

コラム

力試し

現場